



ビアガーデンでバイキングを楽しむ参加者

## 道の駅ビオスおおがた20周年祭

6月15日(日)、「道の駅ビオスおおがた」の開業20周年を記念したイベントが開催され、町内外から多くの来場者で賑わいました。

同駅は2005年6月に開業し、同年8月に道の駅に認定されて以降、観光客の立ち寄りや町民の交流・食事の場として親しまれてきました。

当日は、もち投げやクイズラリー、ビアガーデン、野菜の詰め放題などが催され、幅広い世代が楽しむ姿が見られました。

クイズラリーに参加した塩崎さくらさん、金子未愛さんは、「クイズラリーが面白く、宿題を忘れるくらい楽しかった」と話しました。同駅支配人の土居美香さんは、「今後も町民に愛される道の駅をめざす」と意気込みを語りました。



目録贈呈の様子

## 大栄カントリー倶楽部が町缶詰製作所の缶詰を町へ寄附

7月1日(火)、大栄カントリー倶楽部が黒潮町缶詰製作所の缶詰を町へ寄附したことに伴い、島田果琳次長が大西勝也町長を訪問し、目録贈呈式が行われました。同社のレストランでは黒潮町産のカツオやグリーンレモンを使用した食事が提供されています。

贈呈式の中で島田次長は、「佐賀の防災タワーの避難スペースを拝見し、ここに防災グッズとして缶詰を置いてくればと思います、寄附をした。災害時に少しでも避難した方の励みになってくれると嬉しい」と話しました。

寄附いただいた缶詰は、佐賀地区津波避難タワーの避難スペースに備蓄されます。



表敬訪問の様子

## JICA研修員表敬訪問

7月10日(木)、JICA研修員9名が研修のため、黒潮町を訪問しました。

同研修は日本の代表的な水産資源の1つであるカツオ資源を題材に、水産資源の管理と利用、持続可能な地域開発を図る産官学の関係者の取組を学ぶことを目的に行われました。

西村康浩副町長からの歓迎あいさつの後、研修員を代表してシャビエール・ネルシアさんが、「たたき作りは楽しみだが、文化体験としてではなく、資源を守りどう地域に取り入れられているのか、地元の関わりについて学び、国に持ち帰りたい」とあいさつをしました。

## 地域公共交通 黒潮町モビリティ「くじらん」に乗っておでかけしてみませんか？

大方地域の一部で運行中のAIデマンド交通サービス「くじらん」は、毎週月曜日・水曜日・金曜日の午前9時から午後6時まで利用できます(祝日除く)。

「聞いたことはあるけどどうやって使うの?」、「まずは誰かと一緒に乗ってみたい」という声に対して、役場では、あったかふれあいセンター・集落活動センター・各地区の集まりなどで説明会や体験会のサポートを随時実施しています。ご興味や開催要望などがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

○お問い合わせ 本庁 企画調整室 地域振興係 ☎43-2177

